



事務局長方針

倉野 誠司

委員会日：毎月22日前後

=事務局メンバー=

事務局次長：千藤 純 水野 一成

運営幹事：土屋 竣一

会計幹事：市岡 明浩

事務局員：安藤 万里 市岡 永次 太田ゆかり 勝野 亮希

金山 盛海 熊崎 聖児 桜井 礼治 佐々木淳二

段 厚美

<事務局長方針>

中津川青年会議所は、今日に至るまで先輩諸兄姉が「明るい豊かな社会」の実現に向け活動し、より良い運動発信を続けてきました。今後もより良い運動発信を続けるためには、メンバー一人ひとりがJAYCEEとしての自覚を持って行動することが重要です。本年度事務局では、メンバーに対し、JAYCEEとしての意義を理解し、自覚を持てる機会を提供して参ります。そうすることで、中津川青年会議所は盤石な組織となり、より良い運動発信に繋がると考えます。

渉外業務の一つである対外事業では、各事業の意義や得られる学びを発信し、メンバーに対し積極的な参加を促して参ります。また、出向者支援に於いては、メンバーに対し出向先の事業について情報を発信し、多くのメンバーに参加いただくことで、出向者の活動の励みとなるよう努めて参ります。広報に於いては、SNSを活用し、青年会議所活動が組織内での周知に留まることのないよう、定期的な発信に努めて参ります。

会務業務に於いては、ルールブックに則った議案の精査を行うと共に、各委員会との疎通を図り、意図を理解することで事業内容について本質的な議論ができるよう努めて参ります。また、会議や例会に於いては、丁寧な設営、運営を心掛け、内容に集中していただけるよう設えを徹底して参ります。そうすることで、限られた時間の中で、本来の目的に沿った議論を行うことができ、より良い運動発信に繋がると考えます。

OB交流会は、中津川青年会議所の伝統を築いてこられた特別会員と、継続して信頼関係を構築する大切な機会です。そのためには、日頃の活動へのご協力に対する感謝をお伝えすると共に、メンバーの青年会議所活動に関心を持っていただくことが大切だと考えます。本年度は、

メンバーが特別会員と関わりを深める機会を設けることで、更なる信頼関係の構築を目指します。

事務局は、中津川青年会議所がより良い運動発信を行うことができるよう下支えをする組織であり、ルールを組織に浸透させる役割があると考えます。事務局メンバーにはその責務を自覚し行動していただきたい。事務局長として、JAYCEEの自覚を持ち青年会議所活動に取り組む姿勢を自ら示し、事務局メンバーに対しては、その目的や意図を伝えて参ります。

<事業計画>

- ・OB交流会の開催

<事業予算>

・90,000円

<業務内容>

- ・理事会・例会の運営と記録の保全
- ・各委員会報告のとりまとめ
- ・経理業務
- ・渉外業務
- ・メンバーへの情報提供
- ・各事業の支援
- ・出向者への支援
- ・ホームページ、SNSの運営及び広報活動